



須藤 典夫 議員

コロナ禍社会を
見据えて

須藤典夫議員 先送り
になっている「定住促
進住宅整備事業」「中
央公民館建設」はど
うするか。2つの事業に
ついては議会では「推
進すべきこと」として
採択され、構想の基本
設計まで出来ている事
案である。

建についても町民から
理解されつつある。そ
の結果、事業への期待
も薄れてきている感も
ある。

計画通り進めていく
のか。社会変化を踏ま
え再協議も考
えているのか
伺いたい。

町長 「定住
促進住宅整備
事業」につい
ては計画の段
階から、一部
概略設計まで
できている。

しかし、空
き家の増加、
町営住宅の入
居状況などを
から、ひっ迫
している状況

いま、新型コロナウイルス
のコロナ禍で地方社会
の暮らしや働き方も変
貌を余儀なくされつつ
あるなか、町の財政再

化、就業人口の減少の
中で農地保全対策とし
て有効であり、農業委
員会として推進してい
く。

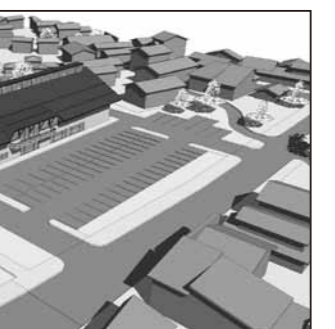


定住促進住宅整備事業予定地

ではないと考えている。
また、事業化には町財
政への負担が極めて多
きので、中止させて
いただきたい。

「中央公民館建設」
については平成30年度
基本設計、31年度実施
計画、令和2年度着工、
3年度に完成の予定で

あつたが、東京オ
リンピック等で建
設資材が高騰した
ため、建設発注を
令和3年後に先送
りすることで、町
議会からも了解を
得た。



第1計画



第2計画

新しい中央公民館の2つのイメージ

「中央公民館建
設」は町民からも
期待された大事業
であるが、令和元
年度の予算編成で
無理に建設を推し
進めることは、町
の行財政へは及ぼ
す影響が大きく、財政
破綻を招く恐れがも
想定されたことから、当
面の間凍結することで、
町議会平成30年3月議
会で関連（建設基金条
例の廃止）する議案を
可決した。

見出していきたいと考
えている。1つは「中
央公民館建設」を中止
し他の公共施設に同居
して公民館としての機
能をさせていく。この
場合現在の公民館は解
体し、跡地利用も併せ
て検討したいと考えて
いる。

2つ目には耐震補強
工事を行う。
3つ目には財源の目
途が付けば基本設計ま
でおえている「中央公
民館建設」を進める。
だが、かなり難しい。
一旦ゼロベースから
考えて、早い時期に結
論を出したい。

景観施策の継承を

回答 景観フォーラム(仮称)で意見収集



中村 忠行 議員

田園風景の保全を

中村忠行議員 景観施
策には農地保全が肝要
だが、農業委員会会長
の所見は。

農業委員会会長 農地
の保全は産業の活性化
とともに景観保全の観
点から重要。農地保全
には農業委員会・産業
課・金山農協の連携に
よる「人農地プラン」
を核として担い手の農
地集積・集約化の推進
離農を考えている方へ
農地中間管理機構の推
進や耕作放棄地発生防
止、農地の貸し借りへ
のマッチングを行なっ
ている。

大規模基盤整備事業
は、農業従事者の高齢



農地パトロールの様子

これまでの
景観施策は重
要視しており、
現代的な課題
を調和してい
かなければな
らない。
「景観グラ
ンドデザイン」
「景観ア
クションプラ
ン」の策定に
際し「街並み
景観づくり1

00年運動」の次世代
への継承が大きなテ
マであり、景観審議委
員から、景観に配慮し
たまちづくりの次世代
への継承の時期にさし
かかっているといった
景観審議委員会につ
いては、次世代への継
承していく為のアドバ
イスをいただく形にシ
フトしながら進めてい
く。

政状況を考慮しながら
効果的・効率的に継続
しつつ、「100年運
動」の取り組みを町中
心部から、周辺地域に
広がりを持たせること
も重要であり、現代的
な課題を考慮すると、
これまでと同様のやり
方では立ち行かなくな
って行く事もある。
今後「景観フォーラ
ム(仮称)」により、議
論や意見交換を行う場
を持ちたい。



建設中の金山住宅

重大事業(定住促進住宅整備事業)の結論は

回答 ゼロベースで検討